



○ 草の根協力支援型

2017年度第1回 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	インドネシア共和国
2. 事業名	バティック制作を通じたインドラマユ県パベアンウディック村の女性雇用創出事業
3. 事業の背景と必要性	<p>パベアンウディック村はインドラマユ県インドラマユ地区北東部の村で、同県において最も貧困な地域である。主な産業は男性による遠洋漁業であり、無職の女性たちが多く貧困の原因となっている。またインドラマユ県は地域特有の伝統工芸バティックの生産が盛んであったが、現在はパベアンウディック村に隣接するパオマン村で生産するのみで、伝統技術・風合いとともに失伝の危機に瀕している。一方で、政府の自国文化振興政策や2009年のユネスコ無形文化遺産登録などでインドネシア国内には十分なバティック需要がある。また、バティックは開税免除品目に指定されており、インドネシア政府によって輸出が奨励されている。</p> <p>このような背景から、インドラマユ県の地方開発調査局はバティック制作による貧困支援の協力を希望している。また現地で失伝した技法を日本の染色技術移転により補うことは、品質の高いバティックを作成可能にするだけでなく、失われつつある日本の染色技術を後世に残す事にも繋がる。</p>
4. プロジェクト目標	バティック制作で収入を得られる女性職人が増える。
5. 対象地域	西ジャワ州、インドラマユ県、インドラマユ地区、パベアンウディック村
6. 本事業の対象となる人々	<p>直接受益者：パベアンウディック村の無職の女性（15歳以上）30～60人</p> <p>間接受益者：直接受益者の家族120～240人</p>
7. 事業活動と期待される変化	<p><活動></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 対象村の無職女性に対しバティック制作の技術支援を行う。 2. 対象村で制作したバティックについて販売支援活動を行う。 3. バティック制作で働く女性への労働環境改善の活動 <p><期待される変化></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 対象村の女性が販売可能なバティックを制作できるようになる。 2. 対象村で制作したバティックを販売できる。 3. バティック制作の仕事に定着する女性が増える
8. 実施期間	2018年4月～2021年4月（3年0か月）
9. 事業費概算額	9,972千円
10. 事業の実施体制	<p>当団体からプロジェクトマネージャー1名、アシスタントマネージャー1名、染色専門家1～2名を定期的に現地に配置する。</p> <p>Yayasan Dian Desa（カウンターパート）から事業実施管理者1名、事業調整員1～2名を現地に配置する。</p>
II. 提案団体の概要	
1. 団体名	一般社団法人 異文化伝統工芸交流協会
2. 活動内容	世界の伝統工芸を担う人々に「国際的な交流・協働の場」を提供し「美術工芸品の発展」に貢献する。インドネシア伝統染色「Batik」の復興プロジェクト『リファイン・バティック』を基幹事業として、伝統工芸職人の技術・自立支援を行っている。